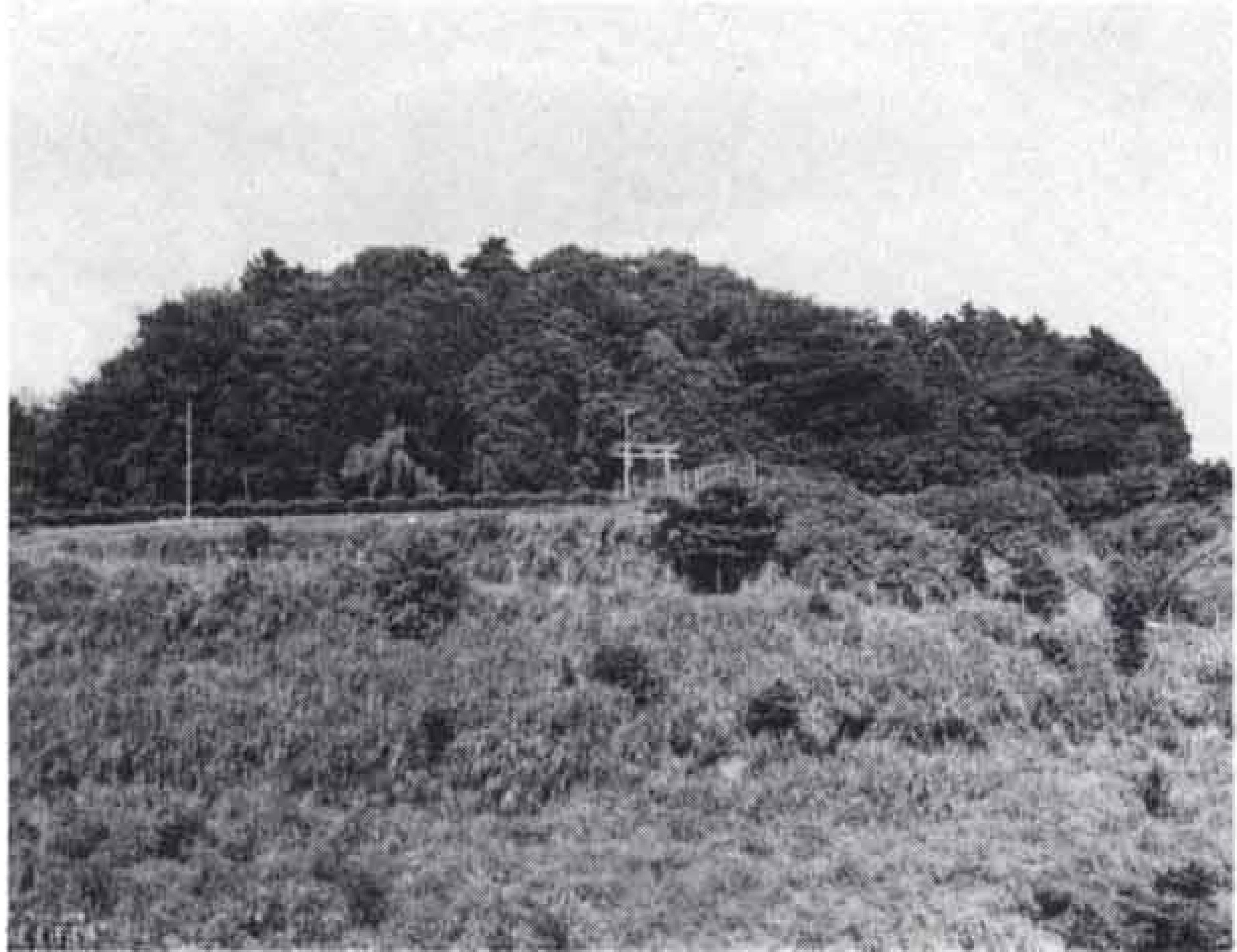


# ふじふくわーく



△この地方最大の浅間古墳



- ▶ 人口 10,397人
- ▶ 世帯数 2,619世帯  
(昭和62年7月1日現在)
- ▶ 面積 10.83平方キロ

## 須津

緑と文化の調和した  
心ふれあうまち

このコーナーでは、公民館単位に各地区の話題や人物を紹介します。あなたの地区でのちょっとしたこぼれ話、出来事、ご意見などありましたらご連絡ください。11月は元吉原、12月は浮島地区です。連絡先…市内永田町1-100 市広報広聴課 ☎ 51-0123 内線2822、締め切りは毎月15日です。

須津地区は浮島沼の北、愛鷹山南麓に古くから開けた地区です。増川にある国指定史跡「浅間古墳」はこの地方最大の規模で、五世紀の中ごろ、駿河のクニの国王の墓として築かれたと推定されます。また、根方街道は古代の東海道として交通の要衝でもありました。地区は典型的な農村地域で、浮島沼を開墾して今日の広大な水田を作りあげました。

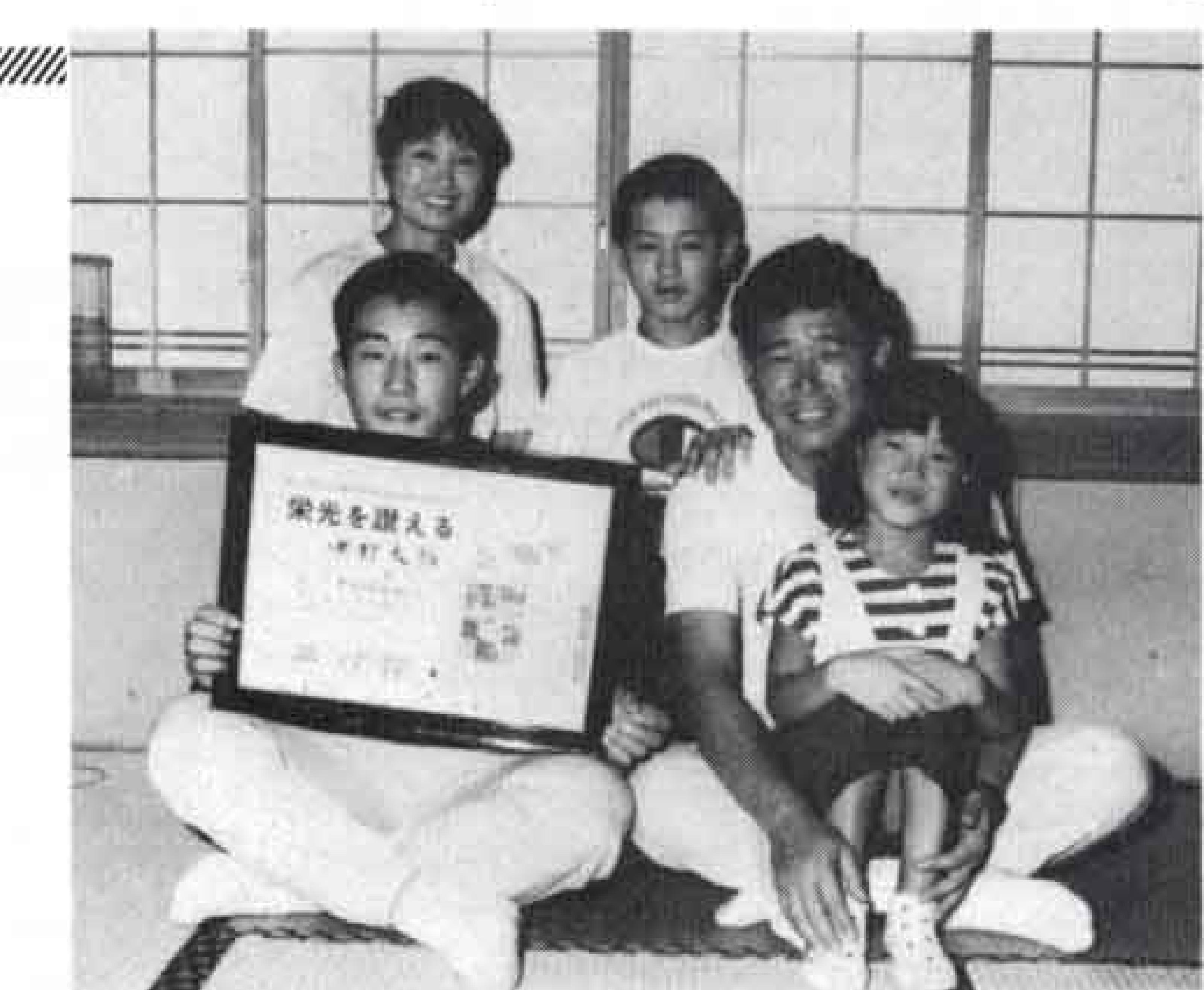
現在の根方街道沿いは、人口密集地で帶状に人家が並んでいます。地区的東名より北は、ミカン畑の広がる丘陵地で、須津川沿いに愛鷹山登山道が通り、上流には大棚の滝やキャンプ場、大棚莊があるレクリエーション地域です。

地区南部は水田地帯ですが、昭和五十三年、県道須津・田子浦線西側に浮島工業団地ができました。沼川西岸は今でも浮島沼の景観の残る地で、アシ・ヨシが茂り、野鳥の楽園となっています。人口密集地での道路交通等の生活環境問題、南北の自然環境の保全等が地区の課題です。

世帯主の中村彰志さんは、岩松中学校の体育の先生。陸上部の顧問をしているだけあって色はマッ黒。学生時代十種競技で日本選手権を制したという馬力は、今も健在です。

奥さんの佑子さんは、現在原田小学校の先生。かつてはやはり中学校の体育の先生をしていました。中学・高校時代はソフトボールの選手として活躍しました。

その一方で、先生に勧められ陸上競技にも挑戦。三種競技では県の通信陸上大会で優勝、八月に三重県で行われた全国大会で二十二位に食い込みました。

△前列左から大輔君、彰志さん、彰子さん  
後列左から佑子さん、圭介君

次男の圭介君（須津中二年）は、大輔君同様、野球部に所属。はにかみ屋さんながらも内に秘めたファイトはお兄ちゃんに負けません。家族のにぎやかし役は、末っ子の彰子ちゃん（須津小三年）。やはり走るのが得意で、駅伝の選手です。ですから、中村さんちのレクリエーションは、お弁当持つて野球や陸上の応援がほとんどです。スポーツマンの一家は、やはり健康的ですね。

スポーツの秋。ふだん運動をしない人も、運動する機会がふえる時期です。今回おじゃましたのはスポーツマン一家の中村彰志さんのお宅。家族全員、運動神経抜群です。さあ皆さんも、レッツスポーツ。

おじ  
や  
ま  
す

スポートマン一家

中里町二 中村彰志さん一家

